



碧南ロータリークラブ週報

第3017回例会 令和4年6月15日(水)

- 会長 新美 雅浩
- 幹事 栗津 康之
- 会場監督(SAA) 岡本 耕也

2021-2022 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

- 会報委員 石川鋼勇・鈴木 洋・藤関孝典・小林 尚

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

アイシンティルマーレ ゼネラルマネージャー 磯貝敏春様
 // ヘッドコーチ (選手兼任) 鈴木康平様
 // 選手 滝沢優樹様

会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。

コロナも随分と減って、碧南も1桁になってきたという状況の中で、ほとんど通常になってきたと思います。

本日は会長が気を遣って欠席をしていただきまして、一番良いお客様が見えた時に挨拶をさせていただくということで、本日に申し訳ないなと思いつつ、会長には感謝しております。

本日、以前に青少年育成の卓話をしていただいた元碧南高校教諭の高野さんからロータリーの方々へということでした。チラシを配布させていただきました。本日はその補足を挨拶に代えさせていただきます。

青少年育成とは、人材育成だというふうに高野さんは言われておりました。青少年というと、今で言う Z 世代が中心かなと私は思っております。皆さんは Z 世代のことをご存じかどうか分かりませんが、1997 年～2012 年生まれぐらいまでのことを言うそうです。

私の友人の大学の先生が「今の若者は非常に楽しい若者だよ。」と言っておりました。その理由を聞くと、「今の 25 歳～30 歳前半のゆとり世代の人たちは、論文を書く時にコピペだらけだった。ところが、今の卒業していく子たちはコピペじゃないよ。ちゃんと何かを作ってくるからね。この子たちを上手に育ててね。」と言っておりました。また、「インターネット中心



森田雅也副会長

の情報収集が非常に上手になってきた。良いもの、悪いものを見極めて、悪いものを排除している。それから、他者との競争よりも自己実現や社会貢献に対する欲求が高いんだよね。」とも言われておりました。世代で区切るのもどうかと思う部分もあるんですけども、そのような話をされました。

先週、うちの顧問先の社長に「昨年の大学の新卒で6人採用したけど、1年後には全員辞めちゃってね。」という悩みを打ち明けられました。休日が少ないとか色々事情があったとは思いますが、そこから見えてくることが、ワーク・ライフ・バランスを非常に重視している、SDGsに対する意識が高い、助け合いをさせたら力を発揮し励まし合う、ということでした。但し欠点が、失敗に弱い、失敗することに手を出そうとしない、失敗すると逃げようとする、できないことにはチャレンジしない、未知のことには弱い、ということがあって、それが辞める原因だったのかなと考えておられました。社長は凄く良い方なんですけど、中間管理の方たちがそういう感覚で育てようとしていたのかなと思いました。

これから入ってくる若い方たちはZ世代になるので、我々がどういうふうに人材育成をしていったら良いかという中で、高野さんから文書をいただきましたので、読ませていただきます。「碧南RCの会員の皆様にお願ひがあります。キャンプリーダーとして、若手社員の方を社員研修の一環として、愛知子ども自然体験キャンプに派遣していただけないでしょうか。人ひとりが人間的成長をすることで、心豊かな人生を送り、その人が関わる家族・学校・会社・社会・日本が良くなっていきます。会社・企業を構成するのは人です。その人が本来の力を発揮するには、気付き、学びを深める必要があります。愛知子ども自然体験キャンプのリーダーとしての参加は無料です。交通費だけ実費になりますが、僅かな日当を支給する予定なので、リーダーとしての参加費用は実質0円です。青少年育成とは、人材育成です。苗木から育てないと根が張った木にはなりません。若手社員も社員としてはまだ苗木です。愛知子ども自然体験キャンプは参加者・スタッフ全員がWin-Winになります。」ということであり、人を育てる経験を持たせるということ、参加させる価値があるのではと感じます。

私事ですが、来週の例会に出席することができないので、今日が本年度最後になります。1年間本当にありがとうございましたという感謝を込めて、会長挨拶とさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願ひ致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 地区国際奉仕委員会より「2021-22 年度国際奉仕委員会ラオス国際奉仕活動協力と参加のお願い」が届いております。
- ・ 来週は本年度の最終例会になりますので、皆様こそでご参加いただきますよう、よろしくお願ひ致します。



栗津康之幹事

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 62 名 (内出席免除者 13 名の内出席者 8 名) 出席者 47 名	
出席対象者 47/57 名	出席率 82.46%
欠席者 15 名 (病欠者 1 名)	

<ニコボックス>

- 長田 和徳君 所用で来週は欠席します。一年間ご苦勞様でした。次年度もよろしくお願
いします。
- 清澤 聡之君 先日、長田エレクトに大変お世話になりました。
先日、黒田哲郎君にお世話になりました。
- 竹中 誠君 オイスカ碧南高浜推進協議会総会が石井拓代議士を始めとして両市の県議、
両市の議長様方の出席で盛会に終わりました。
- 山中 寛紀君 先週末、この4月W F Fに出店したウズベキスタン料理店「タバスム」に
行ってきました。なかなか美味なる料理、少レクセになりそうですが次年
度も出展されることを願っています。
- 牧野 勝俊君 本日の卓話、アイシンティルマーレを紹介いたします。チーム一丸となり、
頑張っております。皆様の熱い声援、よろしくお願いいいたします。

卓 話

「ご支援・ご声援の御礼・アイシンティルマーレ活動報告」 アイシンティルマーレ ヘッドコーチ (選手兼任) 鈴木康平様



鈴木康平様

皆様、こんにちは。アイシンティルマーレのヘッドコーチを
やっております鈴木康平と言います。本日はよろしくお願いま
す。

今日の内容としましては、「2021-22 シーズンのご報告とパートナーシップ契約ご継続のお
願い」ということで、30 分程お時間をいただいておりますので、よろしくお願います。

皆様におかれましてはお馴染みかもしれませんが、今日初めての方もお見えになるかもし
れませんが、簡単にチームの概要のお話をさせていただきたいと思ひます。我々アイシ
ンティルマーレは V リーグの V2 に今年から所属します。V リーグとは、バレーボールの日本
国内の最上位リーグになりまして、バスケットボールだと B リーグ、サッカーだと J リーグ
にあたるものだと思ひただければ良いかなと思ひます。

我々のチームはアイシン辰栄を母体企業として、アイシングループの企業に配属されてい

る人材で構成されておりまして、基本的には仕事とバレーを両立しながら、地域や職場の活性化に貢献したいという思いで活動しております。

そもそもティルマーレ (Tealmare) という名前の由来なんですけれども、Teal は英語で碧色、Mare はイタリア語で海ということで、その造語になります。ですので、この碧海地域を活性化できればという思いもチーム名に込められているというところでございます。

実際の社会貢献活動の事例としまして、最近では碧南市の中学校に訪問して、バレーボール教室を開催しております。あとは地域の草刈り活動などを定期的にやりながら、青少年育成や地元企業の発展に貢献できるような活動もやっているといったところです。我々は V リーグで活躍しながら、地元を盛り上げていけるように皆で頑張っているチームというところをご理解いただければ凄く嬉しいです。

昨シーズンの結果ですけれども、昨年の V3 のチーム数は 4 チームしかありませんでした。全部で 15 試合やったんですけれども、我々は 13 勝 2 敗で優勝することができました。我々としては V リーグに初めて参入して、初めて優勝といったところで、良い成績を収めることができました。これによって、V2 のチームとの入れ替え戦というのがありまして、そこでトヨタ自動車さんのサンホークスというチームと戦って、2 戦とも 3 - 0 で勝ちまして、V2 昇格の権利を得ることができました。その試合の映像がありまして、ちょっとイメージを掴んでいただきたいなと思っておりますので、ご覧いただきたいと思います。

ありがとうございました。ちょっと最後の方は私だったので恥ずかしかったです。ということで、いかがでしたでしょうか。私的には改めて動画を見ると、なかなか迫力があって良いプレーをしているなと感じました。

今シーズンは V2 に上がりまして、レベルも格段に上がります。そういったところで、我々は V2 の優勝を目指して頑張っております。正直なところを言いますと、頑張れば 3 本の指ぐらいには入れるかなと思っております。ただ、これは頑張らないと行けない目標ですので、こうやって公言することによって、自分にプレッシャーをかけながら挑戦できればと思います。

今シーズンの碧南市臨海体育館で開催されるホームゲームの日程ですが、全部で 6 日間ありまして、12 月 3 日 (土)、12 月 4 日 (日)、1 月 14 日 (土)、1 月 15 日 (日)、3 月 11 日 (土)、3 月 12 日 (日) になります。試合の詳細が決まりましたら、ご案内させていただきますけれども、やっぱり動画で見ていただくよりも、現地で実際に試合を見ていただくというのが一番面白いかなと思いますので、ご興味のある方は足を運んでいただければと思います。よろしくお祈りします。

私からは申し上げにくいお話になってしまうんですけれども、パートナーシップ契約というものがありまして、簡単に言えば、皆様の広告の掲出を我々がお手伝いできないかというところで、例えば、ユニフォームやセレモニージャージに地元企業様のロゴを入れる等をして PR のご協力ができたらなと思っております。

今シーズンも良い試合を皆様にお見せできるように頑張ってまいります。また、地域貢献や社会貢献というところで、碧南市の発展に力になればという思いで活動してまいりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

次回例会案内

令和4年6月29日（水）定款第7条第1節（d）による休会
令和4年7月6日（水）クラブフォーラム「役員挨拶」